

## 「次の仙台」をどう創るか——経済力、人材育成：

たかやま・ともたけ  
1985年宮城県塩竈市生まれ。38歳。



東北学院中高、中央大学経済学部卒業後、(株)三井住友銀行で、法人営業とインターネットバンキング、マーケティング戦略に従事。2011年3月11日の東日本大震災による大津波を体験し、事業承継を決断。2022年1月から(株)高山の代表取締役に就任。

グロービス経営大学MBA取得後、2014年1月に事業承継とともに、これまでの文具店からDXカンパニーへ大きく業態変換。事業承継×DXの企業変革で高い評価を得る。宮城県サイバーセキュリティ講演活動の全国初の民間委託事業者として年間100講演。全国中小企業クラウド実践大賞審査員特別賞など受賞。

## (株)高山 智壯氏

「人も、企業もいつからでも、どこからでも、必ず良くなる」

菅原 社員が生き生き働くことで企業が魅力を持ち、それが仙台、地域を明るく活発化させていくことに繋がりますね。

最後に、次の仙台をどう創るか、時代を担う方々にメッセージをお願いします。

高山 「人も企業もいつからでも、どこからでも、必ず良くなる」可能性を信じて、共に明るい未来社会を実現していきましょう。

菅原 ありがとうございます。

今後もご活躍を期待しております。



たかやま・ともたけ  
1985年宮城県塩竈市生まれ。38歳。  
東北学院中高、中央大学経済学部卒業後、(株)三井住友銀行で、法人営業とインターネットバンキング、マーケティング戦略に従事。2011年3月11日の東日本大震災による大津波を体験し、事業承継を決断。2022年1月から(株)高山の代表取締役に就任。

グロービス経営大学MBA取得後、2014年1月に事業承継とともに、これまでの文具店からDXカンパニーへ大きく業態変換。事業承継×DXの企業変革で高い評価を得る。宮城県サイバーセキュリティ講演活動の全国初の民間委託事業者として年間100講演。全国中小企業クラウド実践大賞審査員特別賞など受賞。

「仕事を通じて、仙台を光る地域にしたい」

菅原 弊社は、お客さまの人生をより豊かにするためをテーマに、さまざまな事業を展開しています。「私たちの仕事を通じて、その分野の一流を知りたければ、仙台に行け」と言われるような魅力的でキラッとした光る地域にしたいのです。高山さんはこれから、どのようなお気持ちで取り込まれますか。

### 高山 商品知識や業務ノウハウ、社員一人ひとりのマインド醸成など、やらなければならないことが山積していますが、仙台で働ける幸せな企業を実現するために、人の輪を拡げていきたいと思っています。

菅原 DX化が必要だと分かつて

それでも、人材、予算、社内への浸透など、どこから手をつけてよいか分からぬ企業が大半です。

高山 そのためにも、弊社の体験ツアーや講習会を活用頂きたいたいと思います。

菅原 差別化をはかつていくためには、経営者の皆さまがどのような将来ビジョンを持っているかが、とても重要だと考えています。

高山 事業承継を決めたとき、誰のために、何のために経営するのかを自問自答し続けた中で、働く幸せを(株)高山で実現していくのが私のビジョンで、使命だと確信しました。

菅原 (株)高山さんは、もともと文具業としてスタートましたが、今は、企業のDXを実現する企業としてまつたく業態を変換しました。

高山 創業77年となり、私で3代目です。これまで文具からオフィス機器などの販売、サービスを行っていました。私たちの業界は当時でも過当競争が激しくなっていましたが、2011年3月11日の東日本大震災の大津波で大きく被災したことをきっかけに父からの事業承継を決断、2014年に塩釜に戻り、弊社の将来についてどう乗り越えていくかを考えていました。新型コロナ禍によつてさらに環境が厳しくなつていました。

創業から今まで、「傍(はた)

### 老舗文具業からDX化実現企業に大変換

を樂にすることが大事だ」と継承されてきました、それが弊社の売りなんだと改めて思い、社会のデジタル化への変化がキーワードだと確信するようになりました。

菅原 大きな変換ですね。具体的には、

高山 「DXで共に働くを幸せに」を弊社のキヤッチフレーズに、DXと働き方改革の調整を支援する企業となることでした。その後

のため、お客さまの業績と生産性のアップ、コスト・労働時間のダウント、サイバーリスクのダウンなどを、DXのスキルを使って提案していくことでした。そ

塩釜に戻つてからは、企業のIT化やサイバーリスクの対応など

## 仙台の次世代経営者 presence 対談



(株)清月記専務取締役  
菅原 啓太氏

すがわら・けいた  
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2021年度仙台青年会議所理事長。趣味は旅行。

仙台、日本を拠点に、国内ばかりではなく、世界市場を見据えながら事業を開拓している次代を担う若手経営者に、活力ある仙台の経済活動や人材育成の在り方、そしてこれから時代を生き抜くために必要な価値観や視点を、(株)清月記の菅原啓太専務が聞きます。

連載  
第8回



【(株)高山】本社・宮城県塩竈市尾島町。戦後75年以上にわたり、地元の文具店として創業、「お客様満足を追求」して、約2,000社と取引。これまで文具、複合機・プリンター、通信・ネットワーク回線、PC、周辺機器、サーバー、オフィス移転・新設、オフィス家具、レイアウト施工、サイバーセキュリティサービスなどを展開、新たに「DXで共に働く幸せに」をコンセプトにDXを切り口に、デジタルマーケティング導入支援などに注力している。

(写真下 本社・DX体験コーナーで)

で、50社100名以上の経営者、管理職の方に体験していただいております。業態を変えて、一番大切にしていることは、お客様との信用と信頼関係です。

菅原 これから地域をけん引する企業を創出する取り組みですね。高齢者層まで幅広く手がけておられます。

高山 清月記さんは、葬祭業から飲食・宿泊まで幅広く手がけておられます。